

現時点における教授の体質

本日(1月7日)、全共陽政治集会に結集した全ての学友諸君に現時点における教授の体質問題を明らかにし、さもなくなる斗争の推進に向けて、各斗争委員会の組織の立て直し、向ふから要請する。また、要請する。地理学部共斗会議が斗争中より要求し続けてくる団交に対する教員の指摘する文書は、地理学部のものである。

にもぐる實ち東京追跡のいゝけ者に中へをな。から陰運といふが罪のがて型自り局にまうち、究の臭ニ、社会」任教い論造と道るよ者と居らばこ続ア性的の湿。は成のマ自げしをよし用を。あ居つ責任た居存ク常く陰だ。既して、掲げ治の入再理る者でた行のきのまロと、か重きら代表が印化の。を授てで、教学生ハ業して彼まッ日多ら要直既代表にし自ら畢業真教育た高リをでりレットを学ば。競市へらくま申う。」追權被つ又た任の直通し現役な体もキヤハシ正てがけて、理権リウ一派と受、モト東大体提々語も「我生」され、江の常」家し國社市認末ロ在も、さが軍をぞく。学生づれ、マ身正々国渠る民もを社が存でも、さがよりに「今叶的ゆ。」自彼責められおかれ。ハガはは許して、

明大地理學共闇會議